

あかさか ひでふみ
教育委員 赤坂 秀文さん



教職から離れ、十年余り、時折学校から声がかかり、子どもとの関わりがあるたびに元気をもらいます。ある時、お母さんから子どものことで相談がありました。それは、運動会でスキップで先頭に立って入場しないといけないが、それができないとしよげているとのことでした。

そこで、子どもにスキップをやらしてもらいましたが、うまくできません。やり方のポイントを教えるとあっという間に、上手にリズムカルにスキップができるようになり、笑顔でスキップをしながら、帰っていきました。「運動会では、上手にできたよ」と後日、話してくれました。

教育は、子どもに成功体験をひとつでも多く、支援することが大切だと思います。

<ポイント>

あまり上手にできない人は試してみたらどうでしょう。

片足(もも)を思いきり高く上げ、ジャンプします。次に反対の足(もも)を高く上げ、ジャンプします。高く上げることがポイントです。そして、少しずつ上げていくとすぐにできますよ。

特集

【表紙関連】

わたしたちの宝満山…………… 2~5

9月議会市長提案理由説明 … 10~11

ひきこもり状態にある人とその家族への支援 …… 12

水を大切に 一筑後川の恵みに、ありがとう…………… 13

スポーツ推進委員と一緒に、スポーツの秋にしませんか…………… 14

新型コロナウイルスワクチンの接種について…………… 15

市からのお知らせ…………… 16~19

連載…………… 20~28

なんでも情報コーナー…………… 29~37

太宰府の文化財…………… 38

市政ニュース

令和の都だざいふ

シティブランド・ランキング—住みよい街2023—九州沖縄1位に！

日経BP社のシティブランド・ランキング—住みよい街2023—で本市が九州・沖縄で1位、西日本で2位、全国で11位にランクインし、過去最高を記録しました。

令和発祥の地としての注目の影響を受けた2020でも九州沖縄で4位、全国で20位だっただけに、コロナ禍への対策やコロナ後を見据えた本市の取組が着実に花開いてきた手応えを感じています。

「街の歴史・伝統などに関わる文化資源が豊富」はもちろん、「生涯学習プログラムが充実している」「出産・育児・子育て支援の充実」「多様な地域参加の機会がある」なども上位を記録しました。

これからも、大伴旅人公や菅原道真公に代表される古からの大宰府と最新のグルメやスイーツ、子どもの居場所など現代の太宰府の魅力を融合させた「令和の都だざいふ」の取組を進めていきます。

